

完全自動運転で世界初の無人納車を達成！テスラジャパン、Model 3 と Model Y で 0%特別金利キャンペーン開始 – 今なら、テスラを一日わずか 650 円*から。



Tesla Inc.は、2025年6月28日（日本時間）アメリカテキサス州において自動運転技術を活用し、車両生産工場（Gigafactory Texas）から顧客の自宅まで車両を完全に無人で配送することに成功しました。現在、同州で実施しているロボタクシーのテスト走行など、テスラは歴史的マイルストーンを築いています。これらを実現している車両は、現在、日本でも販売中の新しい Model Y です。この車両のポテンシャルを含めたモビリティの未来を日本の皆様にお届けすることで、より多くの方にテスラの魅力をご理解いただき、持続可能なエネルギーへの移行を加速させることを目指しています。

本日、7月1日より Model Y および Model 3 の在庫車を対象とした「0%特別金利」を開始。
最新のテスラを1日わずか650円から。

テスラは、2025年7月1日より、Model Y および Model 3 の在庫車を対象に、0%特別金利キャンペーンを開始しました（9月30日までのご注文が条件）。このキャンペーンでは、ローン支払いの負担となる金利をテスラが負担することで、月々の支払いを大幅に軽減することができます。このキャンペーンは、新しい Model Y にも適用され、テスラの先進技術をより身近に感じていただけます。

特別価格調整が適用される Model 3 の在庫車なら、習慣的に買ってしまうコーヒーやサブスク契約などのお支払い感覚「一日あたり約650円*」で Model 3 を所有することができ、令和7年度は CEV 補助金を活用することで、テスラはより価格競争力に優れた一台となります。

*お支払いプランは、2025年7月1日時点の車両価格を基礎として、実質年率0%、60回払い、頭金870,000円、クレジット元金4,220,000円（諸経費概算23万円を含む）、ボーナス月加算(6月/12月)120,000円の前提で算出しており、最終回残価設定金額については、車両本体価格の約35%と仮定しています。

Model 3、Model Y の車両本体価格

	車両本体価格（消費税込み）※
Model 3 RWD	¥4,860,000～（在庫車 特別価格調整 45.3万円適用後）
Model 3 ロングレンジ AWD	¥5,669,000～（在庫車 特別価格調整 55万円適用後）
Model 3 パフォーマンス	¥6,910,000～（在庫車 特別価格調整 34.9万円適用後）
Model Y RWD	¥5,587,000～
Model Y ロングレンジ AWD	¥6,476,000～

CEV 補助金額	当社指定のローン 金利（60回）
全車種 87万円	Model 3 の在庫車 Model Y の在庫車、カスタムオーダー 0%

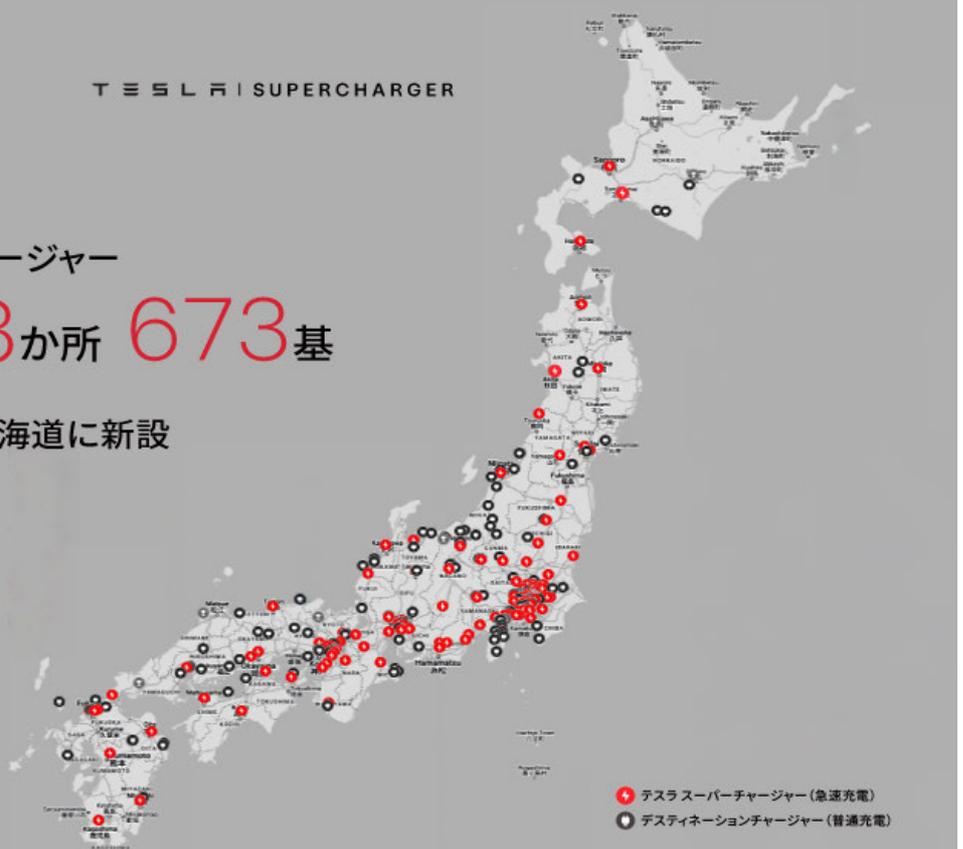
※上記価格は車両本体価格（税込み）です。オプションなどの費用は含まれていません。特別価格調整後の車両本体価格に CEV 補助金額は含まれていません。車両本体価格は 2025 年 7 月現在の価格です。補助金情報の正確性についての責任は負いかねますので、詳しくは次世代自動車振興センターのウェブサイトをご確認ください。（https://www.cev-pc.or.jp/hojo/pdf/R6ho/R6ho_meigaragotojougen_2.pdf）本キャンペーンは予告なく終了する場合があります。

テスラ スーパーチャージャー

日本全国 **133**か所 **673**基

6月は東京、秋田、北海道に新設

※2025年6月時点の設置情報です。



テスラがデザインしたスーパーチャージャーは、わずか数十分で充電が完了し、旅行や移動中に充電で停車する回数、時間を最小限に抑えるよう戦略的に配置されています。スーパーチャージャーは現在日本で展開されているあらゆる充電技術よりも高性能であり、最大 250kW の出力で約 15 分で最大 275km 走行分を充電できます。スーパーチャージャーネットワークは、北米、ヨーロッパ、そしてアジア太平洋地域の主要ルートを繋ぎ、合計で 70,000 基以上が設置され、国内では 133 箇所 673 基が稼働しています。

電気自動車を社会で適応させるには、どこへ行ってもシームレスで便利に充電ができる充電環境を整えることが不可欠です。テスラは引き続きオーナーの皆様がどこへ行ってもプラグを差し込むだけで簡単に充電することができるように充電設備の拡張に取り組んでいきます。

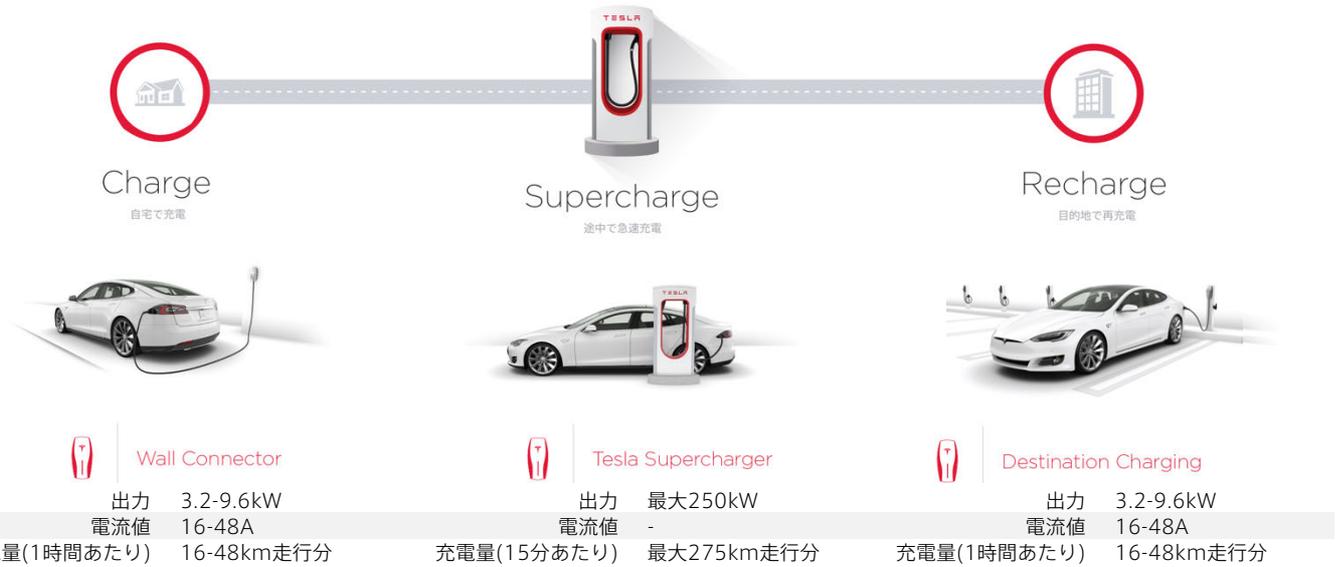
さらに北米では、日本メーカーを含む、ほぼすべての自動車メーカーがテスラ規格「NACS」の採用を決定。普通充電、急速充電どちらもにも対応したテスラ規格は今後、さらに拡大が期待されています。国内においてはソニー・ホンダモビリティ、マツダが今後、日本向け車両において NACS の採用を決定しています。



図：NACS（テスラコネクタ）とCHAdeMOコネクタの比較

テスラの充電環境

テスラの車両は公共充電設備の充電ネットワークに加えて、スーパーチャージャーなどの独自の充電ネットワークを構築しています。自宅の充電環境に加えて、目的地での充電、スーパーチャージャーなどの経路充電によって、自由な移動を提供しています。



全国のスーパーチャージャーその他、テスラ専用充電ネットワーク：https://www.tesla.com/ja_ip/findus

テスラの車両は、専用アダプターを介してその他の公共充電設備でも充電できます。

旅先でスーパーチャージ

渋滞情報を考慮したナビゲーションのように、テスラの車両はスーパーチャージャーの稼働状況を加味した最適なルートを提供しています。オーナーは目的地を設定するだけで、効率的に早く目的地に到着できます。

解説ビデオ

<https://x.com/teslajapan/status/1687744274803388416?s=20>



利用優位性以外の”テスラの強み”

北米ではコンクリートに取り付けられたスタンドと、グリッド接続用に準備された電気部品を付属した状態で出荷することによって、新しいサイトでの設置工事と稼働開始までの期間を大幅に短縮できています。これまで数週間かかっていた工程が、わずか数日で完了できるようになり、これらはスーパーチャージャー自体のデザインのみならず、自社でハード/ソフトウェアの設計、製造、設置メンテナンスまでを一括で行う強みを最大限に活かしたテスラならではの取り組みの一つです。

